

令和2年度定期作況報告

5月20日現在

道総研酪農試験場

I. 気象概況

前年11月から、本年5月中旬までの気象の経過は、平年に比べておおむね次の通りである。

令和元年

11月：気温は上旬でやや少なく、中・下旬で平年並であった。降水量は上旬で極めて少なく、中旬で平年並、下旬でやや少なかった。日照時間は上旬で多く、中・下旬でやや多かった。

12月：気温は上・下旬でやや低く、中旬で高かった。降水量は上旬で極めて少なく、中・下旬でやや少なかった。日照時間は上旬でやや多く、中旬でやや少なく、下旬で平年並であった。

令和2年

1月：気温は上旬で平年並、中旬でやや高く、下旬で高かった。降水量は上・中旬で平年並、下旬で多かった。日照時間は全ての旬で平年並であった。根雪始は1月12日で平年より29日遅かった。

2月：気温は上旬でやや低く、中旬で高く、下旬で平年並であった。降水量は全ての旬で平年並であった。日照時間は上旬で少なく、中旬で平年並、下旬でやや多かった。2月20日の土壤凍結深は37cmで平年より17cm深く、積雪深は34cmで平年より22cm少なかった。

3月：気温は上旬でやや高く、中・下旬で高かった。降水量は上旬で極めて多く、中旬でやや多く、下旬で平年並であった。日照時間は上旬で少なく、中旬で平年並、下旬で多かった。

4月：気温は上旬でやや高く、中旬でやや低く、下旬で平年並であった。降水量は上旬でやや多く、中旬で少なく、下旬でやや少なかった。日照時間は上旬でやや少なく、中・下旬で平年並であった。

令和2年

5月上旬：最低気温は平年並であったが最高気温が高かったため、平均気温は9.9℃で平年より1.8℃高かった。降水量は12.5mmで平年より31.9mm少なかった。日照時間は55.5時間で平年並であった。

5月中旬：最低気温は平年並であったが最高気温が低かったため、平均気温は7.2℃で平年より1.6℃低かった。降水量は10.0mmで平年より23.1mm少なかった。日照時間は60.2時間で平年並であった。

各旬の気象の特徴は上記の通りであるが、寒候期（11月～4月）を平均すると気温および日照時間は平年並みであった。降水量は平均すると平年並であるが、11～12月中の降雪が少なく、1月下旬および3月上旬で多かった。根雪期間が1月中旬から3月下旬までと短く、土壤凍結が深かったことが特徴的であった。

季節調査

	令和元年			令和2年					
	初雪 (月日)	根雪始 (月日)	最深積雪 (cm)	2月20日			根雪終 (月日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)
				土壤凍結深 (cm)	積雪 (cm)				
本年	11.18	1.12	75	37	34	3.27	4.23	5.6	
平年	11.11	12.14	85	20	56	4.10	4.26	5.7	
比較	7	29	△ 10	17	△ 22	△ 14	△ 3	△ 1	

注1) 平年値は前10ヶ年平均値

2) △は減を示す

3) 最深積雪は根雪期間中の値

令和2年度 気象表

年	月	旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(時間)		
			本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
R1	11	上旬	4.3	6.0	△ 1.7	9.5	11.0	△ 1.5	-1.4	0.8	△ 2.2	3.0	46.1	△ 43.1	1.0	3.3	△ 2.3	65.6	43.2	22.4
		中旬	2.5	3.4	△ 0.9	7.2	7.9	△ 0.7	-3.7	-1.6	△ 2.1	32.0	28.9	3.1	4.0	3.8	0.2	58.3	47.8	10.5
		下旬	0.0	0.3	△ 0.3	5.5	5.0	0.5	-5.9	-5.0	△ 0.9	3.0	22.2	△ 19.2	2.0	3.2	△ 1.2	66.9	51.9	15.0
	12	上旬	-3.0	-1.6	△ 1.4	2.3	3.1	△ 0.8	-8.6	-6.9	△ 1.7	9.0	45.9	△ 36.9	2.0	2.9	△ 0.9	59.5	49.4	10.1
		中旬	-1.5	-3.6	2.1	3.3	1.0	2.3	-7.3	-9.5	2.2	5.5	19.9	△ 14.4	2.0	3.1	△ 1.1	35.6	52.1	△ 16.5
		下旬	-5.7	-4.4	△ 1.3	-1.0	-0.1	△ 0.9	-12.3	-10.5	△ 1.8	15.0	25.5	△ 10.5	4.0	3.2	0.8	61.5	54.3	7.2
R2	1	上旬	-5.4	-5.8	0.4	-1.7	-1.2	△ 0.5	-10.9	-11.8	0.9	0.5	9.8	△ 9.3	1.0	2.6	△ 1.6	58.0	50.9	7.1
		中旬	-6.1	-7.9	1.8	-0.8	-2.6	1.8	-12.6	-14.6	2.0	6.5	4.9	1.6	2.0	1.3	0.7	52.4	57.8	△ 5.4
		下旬	-4.9	-7.0	2.1	-1.3	-1.8	0.5	-9.5	-14.2	4.7	44.0	16.6	27.4	2.0	3.1	△ 1.1	53.4	55.8	△ 2.4
	2	上旬	-8.3	-7.2	△ 1.1	-4.5	-2.2	△ 2.3	-14.5	-14.4	△ 0.1	5.5	10.1	△ 4.6	1.0	2.7	△ 1.7	37.2	58.4	△ 21.2
		中旬	-3.9	-6.2	2.3	1.0	-1.3	2.3	-9.5	-13.1	3.6	6.5	8.7	△ 2.2	1.0	2.0	△ 1.0	59.0	55.4	3.6
		下旬	-5.8	-5.2	△ 0.6	-0.6	-0.1	△ 0.5	-12.9	-12.9	0.0	13.5	8.7	4.8	1.0	1.8	△ 0.8	67.6	51.7	15.9
	3	上旬	-1.9	-3.2	1.3	1.4	1.1	0.3	-6.1	-9.4	3.3	74.0	34.2	39.8	4.0	3.1	0.9	26.8	51.9	△ 25.1
		中旬	0.5	-1.6	2.1	5.3	3.0	2.3	-5.1	-7.4	2.3	22.5	10.5	12.0	2.0	2.5	△ 0.5	68.6	62.9	5.7
		下旬	2.1	-0.5	2.6	7.0	4.1	2.9	-3.2	-6.0	2.8	0.0	8.8	△ 8.8	0.0	2.9	△ 2.9	92.7	69.7	23.0
	4	上旬	3.0	1.8	1.2	7.4	6.3	1.1	-0.8	-2.9	2.1	50.5	36.6	13.9	7.0	3.2	3.8	37.2	56.1	△ 18.9
		中旬	1.8	3.6	△ 1.8	6.7	8.9	△ 2.2	-3.0	-1.2	△ 1.8	5.5	27.7	△ 22.2	1.0	2.9	△ 1.9	64.2	56.5	7.7
		下旬	5.7	6.4	△ 0.7	11.6	13.0	△ 1.4	-0.4	0.3	△ 0.7	16.5	27.8	△ 11.3	5.0	3.0	2.0	66.0	65.5	0.5
	5	上旬	9.9	8.1	1.8	16.7	13.9	2.8	3.0	2.9	0.1	12.5	44.4	△ 31.9	6.0	4.3	1.7	55.5	52.6	2.9
		中旬	7.2	8.8	△ 1.6	12.9	15.0	△ 2.1	2.8	3.6	△ 0.8	10.0	33.1	△ 23.1	2.0	3.9	△ 1.9	60.2	56.4	3.8

備考) データはアメダス観測値(中標津). 平年値は前10ヶ年平均値.

Ⅱ. 当 場 作 況

1. とうもろこし

作況：－

事 由

耕鋤始は5月6日で平年より1日早かった。その後、周期的な降雨はあったが播種床造成作業は順調に進み、播種は平年より1日早い、5月20日に行われた。

品種名	播種日(月日)		
	本年	平年	比較
たちぴりか	5.20	5.21	△1

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成22年度から供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 平年値は前7カ年のうち最豊年の平成26年および最凶年の平成28年を除く5カ年の平均値である。

4) △は減を示す。

2. 牧草

(1) 採草型

チモシー単播

作況：1 番草 やや良

事由

根雪期間が1月中旬から3月下旬までと短く、土壌凍結が深かったものの、越冬後の生育は順調に進んだ。萌芽期は2年目草地および3年目草地ともに平年よりも1日遅かった。冬損状態は2年目草地で平年より0.4ポイント低く、3年目草地で平年と同程度であり総じて平年並と判断される。5月20日現在の草丈は平年よりも、2年目草地で6cm、3年目草地で7cm高かったことから総じてやや高いと判断される。

以上のことから、現時点での作況はやや良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「なつちから」2年目	TY単播	4.24	4.23	1	2.0	2.4	△0.4	43	38	6
「なつちから」3年目	TY単播	4.26	4.25	1	3.0	3.0	0	46	38	7

注1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平成30年度から供試品種を「ノサップ」から「なつちから」に変更している。

3) 平年値は前7カ年のうち最凶年(2年目草地：平成28年、3年目草地：平成28年)と最豊年(2年目草地：平成26年、3年目草地：平成29年)を除く5カ年の平均値である。

4) △は減を示す。

(2) 放牧型

オーチャードグラス単播

作況:1番草 やや不良

事 由

根雪始が平年よりも29日遅く、土壌凍結が深かったことから、越冬後の生育はやや停滞した。萌芽期は2年目草地および3年目草地とともに平年よりも3日遅かった。冬損状態は2年目草地で平年よりも2.7、3年目草地で平年よりも1.6高く総じて高かった。5月20日現在の草丈は、2年目草地で34cm(平年値は39cm)、3年目草地で24cm(平年値は29cm)であったことから総じてやや低いと判断される。

以上のことから、現時点での作況はやや不良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ハルジマン」2年目	OG単播	4.29	4.26	3	4.0	1.3	2.7	34	39	△5
「ハルジマン」3年目	OG単播	4.29	4.26	3	4.0	2.4	1.6	24	29	△5

注1)酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2)OG:オーチャードグラス。

3)平年値は、2年目草地については平成26年~令和元年の6カ年の平均値、3年目草地については平成27年~令和元年の5カ年の平均値である。

4)△は減を示す。

メドウフェスク単播

作況：1 番草 並

事 由

根雪始が平年よりも 29 日遅く、土壌凍結が深かったことから、越冬後の生育はやや停滞した。萌芽期は 2 年目草地で平年と同日、3 年目草地で平年よりも 2 日遅かった。冬損状態は 2 年目草地で平年よりも 0.3、3 年目草地で平年よりも 1.0 高く総じて平年並であった。5 月 20 日現在の草丈は、2 年目草地で 33 cm（平年値は 33 cm）、3 年目草地で 25 cm（平年値は 24 cm）であったことから総じて平年並と判断される。

以上のことから、現時点での作況は並と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-9甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「まきばさかえ」2年目	MF単播	4.29	4.29	0	3.0	2.7	0.3	33	33	0
「まきばさかえ」3年目	MF単播	4.31	4.28	2	4.0	3.0	1.0	25	24	1

注 1) 酪農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示

したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) MF：メドウフェスク。

3) 令和 2 年から放牧型としてメドウフェスクの作況も掲載する。

4) 平年値は、2 年目草地については平成 26 年～令和元年の 6 カ年の平均値、3 年目草地については平成 27 年～令和元年の 5 カ年の平均値である。

5) △は減を示す。

令和2年度作況調査供試作物、品種および耕種概要

供試作物 および 品種名	1区 面積 (m ²)	施肥量 (kg/10a)						栽植様式
		堆肥	炭カル	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	
1.サイレージ用								畦間72cm
とうもろこし	11.5	4,000	300	8+4	23	14	3	株間18cm
「たちぴりか」								7,716本/10a
2.牧草								
(1)採草型								
TY「なつちから」	9.6	4,000	300	10	23	14	8	30cm条播 播種量
		-	-	17	8	17	4	1.5kg/10a
(2)放牧型								
OG「ハルジマン」	9.6	4,000	300	10	23	14	8	30cm条播 播種量
および MF「まきばさかえ」		-	-	17	8	17	4	2.0kg/10a

- 1)サイレージ用とうもろこしは、地域適応性検定試験の圃場。
- 2)牧草は、2, 3年目草地を調査。採草型は年2回、放牧型は5回（各月1日）の刈り取り。
- 3)TY：チモシー、OG：オーチャードグラス、MF：メドウフェスク。
- 4)牧草の施肥量は、上段が造成年(1年目)、下段が2, 3年目草地を示す。